

CAMPUS LIFE

宮崎大学 MAGAZINE

2017 vol.26

のススメ

特集

宮崎大学の学生は、毎日、
どんなキャンパスライフを送っているの？
実態を直撃！

教職員紹介 平田 令子 (農学部 森林緑地環境科学科講師)

講座レポート

オープンカレッジ2016 ~食と健康編 in 青島・綾~

トピックス&イベント

ディスカバ宮大 日南デスクがオープン！



宮崎大学の学生は、毎日、どんなキャンパスライフを送っているの？

実態を直撃!!



大学生のキャンパスライフ、どんな毎日を送っているのでしょうか。授業は？アルバイトは？サークルは？今回は、木花キャンパス、清武キャンパスに通う2人の学生にインタビュー。一番の楽しみや、一人暮らしのことなどについて聞きました。

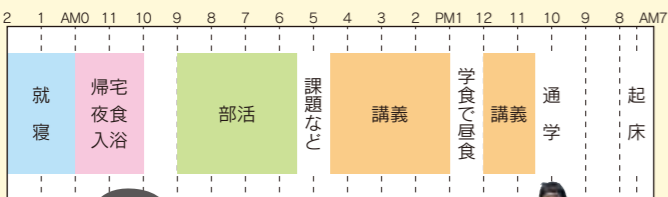
KIYOTAKE CAMPUS

桑引 一さん
くわひき はじめ

医学部看護学科 3年
看護学科で講義と実習に忙しい桑引さん。宮崎市出身で実家暮らしだけど、夕食は外食が多いのだとか。なぜならほぼ毎日、仲間と熱中していることがあるからなのです！



桑引さんの平均的な1日の生活スケジュール



通学は相棒の原付で。自宅からは30分程度



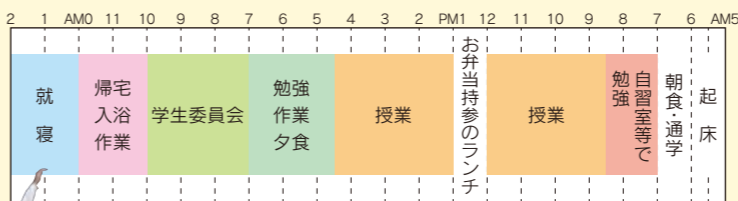
KIBANA CAMPUS

堤 由布香さん
つづみ ゆうか

工学部環境応用化学科 2年
大分市出身の堤さん。一人暮らしを始めたばかりの頃はホームシックになったけど、今ではお弁当作りまで毎日こなすほど。将来は高校の理科教師を目指す“リケジョ”です。



堤さんの平均的な1日の生活スケジュール



自宅は木花駅の近くで、徒歩20分程度。電車で宮崎駅近くのバイト先に通うのにも便利



interview

Q. 看護学科を選んだ理由は？

A. 祖母が看護師をしていたので、興味がありました。あと、僕には兄弟が4人いて、一番下の弟はまだ中学生。弟たちのためにも、宮崎で学んで仕事に就きたいというのを考えました。

Q. スケジュールを見ると目障らな気がします、何をしている時間が一番楽しい？

A. 部活動ですね。高校時代から演劇部に入っていて、大学でも迷わず入りました。高校では大道員や照明、小道具を担当していて、主に裏方が多かったんですが、みんなで舞台を作り上げるのは面白いですよ。7月の公演では、裏方をしながら役者として舞台上にも立ちました。練習がんばりました！練習が終わった後も、夕食を食べに行ったり、みんなでずっと、演技の話をするのもあります。好きな劇団は、TEAM NACS(チームナックス)(大泉洋さんでおなじみですね)です。いつか舞台を見に行ってみたいですね。



interview

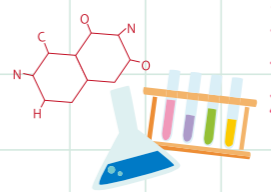
Q. 一人暮らしは大変ではないですか？

A. 料理なんかは、母がやるのを見ていたので、案外、大丈夫でした。お昼はお弁当を作っています。



Q. 理科が大好きだそうですね。

A. そうです。バイオ化学の分野で環境問題について学んでいます。実験も楽しいし、ベンゼン環とか、CとHの結合を線だけで表せて、それが美しく！



Q. 美しいですね。講義以外で今、楽しんでいることは？

A. 大学生協の学生委員会で委員をしています。今は、オープンキャンパスに向けて説明会の資料を作成中です。私は、学生委員の先輩には受験の時の交流会で緊張をいってもらいました。新入生の新歓企画や学内ツアーなども企画するんですよ。だいたい週に3日ぐらい集まって活動しています。夏には、奈良県で開催される全国学生委員会セミナーに参加します。他の大学の活動を見られるのが楽しみです。

Q. 高校時代と変わったなあと思うことは？

A. 車を持つてる人もいるし、友達と遠出することが増えました。教授の緊急オペで、急に休講になることもあって、天気がいいと、ふらつと青島に行くこともあります。海が近いのは、いいですよ！

Q. アルバイトはしていますか？

A. 医学部の学食で、週3日ぐらい働いています。レジ打ちや血洗いなどをしていますよ。バイト代は、原付のガソリン代とか、夕食代とかに消えちゃいますね。先輩として、たまには後輩に「ちこそうする」こともあるんですよ。



Q. 学生時代にやってみたいことは？

A. 旅行に行きたいですね。看護学科の男子学生で、「どこか行きたいね」とよく話しています。看護学科の男子は、60人中6人。結束が固いです。

Q. 高校時代から自分が変わったなと思うことは？

A. 元々、朝は強い方ですが、高校時代は母に起こしてもらっていましたが、今は、友達にモーニングコールを頼まれるほどです。藤田麻衣子さんの「ロータリー」というお気に入りの曲を、サビの部分からかかると、うにしているの、バッチリです。



Q. 最後に、宮崎に来てよかったな、と思ったことは？

A. 最初は夜道が嫌いだっただけですが、ふと夜空を見上げるとこんなにキレイだったんだと、感じてました。星が本当にキレイだと思います。



お気に入りのスポット

「工学部棟のラウンジ」



7時ぐらいには学校にきています。工学部棟は24時間開いているので、ここで予習復習をするのが日課。

お気に入りのスポット

「ヒコクラテス像前の広場」



大きな木が木陰をつくっていて、本を読むのにもぴったり。広々していて、気持ちいい！

おしえて 宮大生!

入学日の交通手段
お金のこと
アパート・家のこと
アルバイト
サークル
などなど!

受験生の「知りたい」に 宮大生がこたえます!

宮大 ホームページでも紹介しています

▶▶動画を見るにはこちらをクリック!◀◀

<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/point/oshiete>



宮崎大学 オープンカレッジ

～食と健康編 in 青島・綾～ 2016

2016年10月6日から8日まで行われた「宮崎大学オープンカレッジ2016」。広島県や鹿児島県、熊本県からも参加され、食と健康について学びました。2日目は、綾町を訪ね、農業体験や照葉樹林ウォーキングなど、綾の大自然を満喫。皆さん、講義の後も先生方に熱心に質問され、大いに刺激を受ける3日間となりました。

1日目 学生に戻って、座学もしっかり

口コモ体操で転倒予防。片足を浮かせて手を前に交差し、体幹をトレーニング。皆さんも試してみてください



森のキャビアと呼ばれるフィンガーライム。貴重な実を、特別にみんなで試食しました

2日目 2日目は綾町で学びの1日



早川農苑で人参の間引き、キャベツの定植を体験。黙々と作業に取り組みます。ヤギさんがお出迎え!



綾町照葉樹林文化推進専門監・河野耕三先生のガイドで、大吊橋のまだ先へ。さまざまな植物や生物の息吹を間近で感じました



ヤギさんがお出迎え!

コンテナ苗の振り取り

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

野ネズミ調査 in 田野演習林

学生実習 in 田野演習林

</

JICA草の根技術協力事業「ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト」の関係者4名を招聘、研修を実施

5月23日から6月1日かけて、宮崎大学国際連携センターでは、JICA(国際協力機構)草の根技術協力事業「ミャンマー国ヒ素汚染地域における衛生保健の実施体制強化プロジェクト(プロジェクトマネージャー:国際連携センター 矢野靖典助教)」の相手国・ミャンマーのカウンターパート機関(保健スポーツ省医学研究局)から4名を招聘し、健診データ解析と化学分析に関する研修を実施した。



研修初日は池ノ上克宮崎大学長を、翌日は丸山眞杉宮崎大学医学部長を表敬し、ミャンマーにおける当事業の活動内容と今後の展望について議論を行った。

研修期間中、4名は医学部と工学部に分かれ、それぞれの受け入れ教授の指導のもとで研修を実施し、それぞれ日本の健診風景の視察や宮崎県総合農業試験場や公益財団法人宮崎県環境科学協会の視察を行った。

ミャンマーの農村地域では、主要な飲料水源である地下水がヒ素に汚染されており、組織的な健康被害調査が不十分で、汚染が集中している地域の住民が飲料水の健康リスクを認識せずに飲用しているという現状がある。同時に、不衛生な飲料水に起因する寄生虫感染による消化器疾患等の疾病や免疫系の低下による小児呼吸器感染症等も問題となっている。当事業では、これらの現状を踏まえ、カウンターパートと協力し、地域住民の保健情報の整備、安全な飲料水供給モデルの構築、そして、安全な飲料水に対する住民への啓発活動を実施することにより、事業地における衛生保健の実施体制の向上を目指している。

ラマダンフェスの開催

6月11日、宮崎ムスリムコミュニティ(現在、宮崎大学留学生が会長を務める)は、ラマダンフェスを開催した。参加者は年々増加し、今年も300名ほどの留学生、日本人学生、教職員、地域の住民が参加した。

平成26年度に本学で開所したイスラーム文化研究交流棟は、国立大学唯一の特色ある施設であり、イスラーム圏からの学生にとっては欠かせない施設とな

門川町と包括連携協定を締結

6月5日、宮崎大学は、門川町役場(宮崎県)において、包括連携協定の締結式を行った。本学と門川町役場の間では、平成28年度から「門川町におけるカムリウミスズメの象徴的価値を見いだすための生態・行動研究プロジェクト」、「門川町の魚類多様性から見た魅力発掘と地産地消プロジェクト」などの地域の特色に着目した事業を農学部教員が主体となって実施し、連携を強化してきた。



同協定は、これまでの事業をさらに深化させるとともに、より幅広く連携事業を実施していくことを目的として締結され、平成29年度は以下の4つの事業を予定しており、「地域の魅力の磨きあげ」「魅力の国内外への発信」「若い世代への教育」をキーワードにそれぞれの事業が連携しながら実施していくこととしている。

- ①門川町におけるカムリウミスズメの象徴的価値を見いだすための生態・行動研究プロジェクト(主担当:農学部 坂本信介 講師)
- ②門川町の魚類多様性から見た魅力発掘と地産地消プロジェクト(主担当:農学部 村瀬敦宣 助教)
- ③ICTを利用した門川町の魅力発信プロジェクト(主担当:地域資源創成学部 金岡保之 准教授)
- ④かどがわグローバルキャンプ(主担当:国際連携センター 伊藤健一 准教授)

本大学が県内市町村と連携協定を締結するのは今回が8例目。平成28年度からは「地域資源創成学部」を新たに設置するなど、これまで以上に地域に貢献できる大学を目指すとともに、活力のある地域を創成できる人材を育成していくこととしている。

ており、外国人留学生の約3分の1を占めるイスラーム圏からの学生等で構成される宮崎ムスリムコミュニティが、本学教職員や地域住民・日本人学生に対する感謝の意を込めて多国籍ハラール料理を振る舞った。

今年は、東京のアラブイスラーム学院から講師を迎え、イスラミックカルチャーについて講義いただき、留学生、地域住民、教職員が多くの交流を深め、イスラミックカルチャーに触れ、理解する非常に良い機会となった。



ヤンゴン工科大学(ミャンマー)とダブルディグリープログラムに関する協定書に調印

5月5日、本学の池ノ上学長、同大学工学研究科の横田研究科長、Thi Thi Zin(ティ・ティ・ズイン)教授一行がミャンマー連邦共和国のヤンゴン工科大学(YTU)を訪問し、ダブルディグリープログラム(DDP)の実施に必要な共同学術委員会(JAC)にかかる協定書の調印を行った。YTUは、同国で最も歴史の古いヤンゴン大学から工学系が独立して設立されたCOE大学である。



宮崎大学工学研究科とYTUとは既に平成27年12月30日にDDPに係る覚書「Technical Academic Agreement(TAA)」を締結しているところであるが、今回の協定書調印により、実際にDDPを実施することが可能になる。調印式にはYTU大学側からCOE大学会長Prof. Nyi Hla Nge(ニ・ラ・ゲ)氏、YTU学長Dr. Myint Thein(ミン・テイン)氏を初め、同大学の各学科長が出席した。

調印式に続いて執り行われた両大学関係者による会談の席上、今回の協定書締結を機会に、両研究科間において今後、DDPを軸として学術及び学生交流の更なる進展を図ることが約束された。

「教師みらいセミナー」を開講

6月24日、教育学部は、宮崎県立宮崎南高等学校(南高校)において、南高校との連携による「教師みらいセミナー」の開講式及び講義を行った。教師を目指してセミナーに参加登録した県内の県立、私立高校16校の3年生125名のうち、第1回目となるこの日は、約120人が参加した。

同セミナーは、本学教員・学生、現職教員、県教育委員会、保護者、企業関係者の方々が講師となって、学部での学びの紹介や求められる教師像などについて語り、参加者が、高校時代に本当に教師になりたい理由を考える時間を持ってもらうことを目的に、昨年度に引き続き開講しているもの。



初回は、教育学部1年の甲斐日奈子さん(昨年度セミナー受講者)が「教師みらいセミナーから学んだこと」と題して体験談を紹介。実体験を交えた生の声に参加者は真剣に聞き入っていた。続いて、教育学部の野添准教授が「教科「理科」の正体を探ってみよう」の演題で講演を行い、日本と英国の教育の違いを紹介した上で、先生として哲学を持つことが大事であると話した。参加した高校生からは、「自分の教師になりたいという気持ちをあらためて確認するととてもよい機会となった。今後のセミナーも楽しみにしている。」という声があった。



今後は、南高校を会場に12月までに毎月1回、全6回が計画されている。

宮崎大学まちなかカレッジ2017 第1回「大粒のブルーベリーを育てよう」を実施

5月27日、「宮崎大学まちなかカレッジ2017 第1回「大粒のブルーベリーを育てよう」」を、平成28年度に新たにオープンした宮崎大学まちなかキャンパスにて実施した。

本講座では、「食と健康」という観点に重点を置いて学び直しの場を提供し、産学官連携により開発された果樹の機能性とそ育て方などを一般向けに副学長である國武久登教授が概説した。

宮崎市を中心に都城市(宮崎県)や綾町(宮崎県)などから30名程度が受講し、大粒のブルーベリーを育てるための講義に熱心に聞き入っていた。講座のなかで、受講生から次々と質問の手が上がり、「うちの学生もこのくらい積極

「第22回宮崎国際音楽祭」に宮崎県内の外国人留学生が参加

5月12日、宮崎地域留学生協議会(会長:池ノ上克宮崎大学長)に在籍する外国人留学生及び外国人教職員が「第22回宮崎国際音楽祭」のメインプログラムの一つである「ズーカマン「豊饒の室内楽」」に招待され、各国の民族衣装を身にまとった13カ国39名の招待者が音楽祭に彩りを添えた。



本音楽祭は、宮崎県・公益財団法人宮崎県立芸術劇場が主催するもので、例年、国内外のオーケストラの首席奏者ら世界で活躍する演奏家が多数出演している。

終演後、本学に在籍するモロッコ人留学生は、「ヴァイオリンに興味があり、モロッコでもよくコンサートに行っていたが、宮崎で世界一のヴァイオリニストと呼ばれるズーカマン氏の演奏を聴けるなんて」、アフガニスタン人留学生からは「このような素晴らしい音楽祭に招待してもらったことに感謝している」と感想を述べるなど、実際にホールで体験する一流の演奏に魅了されていた。

本学では、「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」等による日本人学生の海外派遣を積極的に推進するとともに、外国人留学生の受入も積極的に進めている。

また、芸術のみならずスポーツを通じた切り口からの国際交流にも力を入れており、平成29年夏には台湾の大学との野球交流を予定しているなど、様々な切り口からの国際交流を通じて国際的感覚を持った人材を育成していくこととしている。

日南市において公開講座「観光客受け入れのための中国語講座」を実施中

5月15日から7月24日にかけて日南市創客人センターにおいて、宮崎大学公開講座「観光客受け入れのための中国語講座」を実施した。

日南市は、続々と寄港するクルーズ船に対応するため、地元の高校生が観光案内を務めるなど、地域に活気が生まれていることが安倍首相の所信表明演説においても話題としてとりあげられたほか、官民連携による地域活性化策などが全国的にも注目を浴びており、県内外からも多くの視察団が訪れている。

同講座は、地域のレストラン、土産物店、日南市職員などの要望を受けて実施しており24名が受講している。講座を担当する宮崎大学語学教育センター藤井久美子教授は、クルーズ船などを利用して日南市を訪れる中国・台湾など観光客へのおもてなしを念頭に、語学のみならず文化の違いも紹介するとともに、中国と台湾からの留学生の協力も得ながら、観光客対応に活用できる内容を盛り込んだ指導を行っている。

本学では、5月15日に宮崎大学日南デスク(日南市創客人センター内)を開設しており、地域ニーズに合う公開講座の展開やローカルベンチャー支援の連携強化など、幅広い分野で連携を強化し、地域の活性化に貢献していくこととしている。

的に質問してくれればいいのですが」と、國武教授も照れ笑い。次回はレモンを題材とするなど、年間6回シリーズで展開していく予定で、受講者からは早速予約の問合せが寄せられていた。

本学では、文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」として「食と健康を基軸とした宮崎地域指向型一貫教育による人材育成」というテーマで、地域活性化を生かした「食と健康」を基盤とした教育・研究にも重点を置いている。



市民公開講座

●日程等は今後変更になることがあります。詳しくはHPをご覧ください。

【問合せ先】

ひむか骨と関節を考える会 一動く喜び、動ける幸せー	日程 10月15日(日) 場所 宮崎県総合保健センター	一般市民対象 宮崎大学整形外科 TEL:0985-85-0986
第9回 宮崎リハビリテーション講習会	日程 10月15日(日) 場所 宮崎県総合保健センター	一般市民対象 宮崎大学整形外科 TEL:0985-85-0986

イベント

第7回ホームカミングデー	日程 10月14日(土) 場所 木花キャンパス	宮崎大学同窓会連合会事務局 TEL:0985-58-7114
全国大学ビブリオバトル 宮崎大学予選会	日程 10月予定 場所 図書館本館	附属図書館資料管理係 TEL:0985-58-7146
きよかさい 清花祭(大学祭)	日程 11月17日(金)~19日(日) 場所 木花キャンパス・清武キャンパス	学生生活支援課 TEL:0985-58-7135
みやだいWakuWaku体験Day	日程 11月18日(土)・19日(日) 場所 木花キャンパス・清武キャンパス	産学・地域連携課 TEL:0985-58-7188
イブニングセミナー	日程 11月予定	研究推進課 TEL:0985-58-2882



NICHINAN Desk

宮崎大学日南デスクがオープン!

宮崎大学の拠点を地域へ。宮崎市若草通の「宮崎大学まちなかキャンパス」に続き、日南市に「宮崎大学日南デスク」がオープンしました。日南市の地域創成は今、その推進力で全国から注目を浴びています。これから、この新たな拠点で、地域をつくる人材の育成に貢献していきます!

なぜ、日南デスクができたの?



宮崎大学と日南市は、平成24年4月12日に、包括連携協定を締結しています。これまでも、各種連携事業が行われてきました。さらに、平成28年度に開設された地域資源創成学部による学生地域探索実習を日南市で実施。また、同学部の土屋講師は、日南市のローカルベンチャー支援に携わっています。この春、新たに開設した地域づくり活動の支援拠点「創客創人センター」を有効利用し、日南市のさらなる活性化につなげてほしいという日南市の意向を受けて、設置させていただくことになりました。オープン直後から行われた「中国語講座」は、大変好評でした。9月からは、概ね60歳以上の世代を対象とした「日南市創客創人大学」がスタートします。



5月15日に開設式が行われました。崎田日南市長(中央右)、池ノ上宮崎大学長(中央左)



中国語講座は盛況でした。早速、活用していただきたいですね!

ここでは、どんなことができるの?

宮崎大学・県南の拠点として、日南市などと連携を強化しながら、

- ローカルベンチャー支援
- 地域ニーズに合う公開講座の実施
- 高校生向けに大学入試情報の提供



などを行い、地域人材の育成に貢献していきます。

宮崎大学日南デスクの公開講座		
講座名	講師	開講日
観光客受け入れのための中国語講座 ※10/7は今回新たに受講する方向けの集中基礎講座になります。 受講料 3,000円(全7回)	藤井久美子	平成29年 10月 7日(土)
		10月19日(木)
		11月 9日(木)
		11月30日(木)
		12月14日(木)
ロコモティブシンドローム予防・対策講座	未定	平成30年 1月11日(木)
		2月 1日(木)
		平成30年 2月24日(土)

宮崎大学日南デスク《施設概要》
 日南市岩崎3丁目4番1-2号 Itten堀川ビル2階
 TEL 0985-58-7188
 開館時間：平日9:00～22:00、日曜・祝日9:00～17:00
 休館：12/29～1/3

広告

スピード審査! 審査結果を最短翌営業日にご連絡!

来店不要でお借り入れOK!

「もしも」に備える 団体信用生命保険 **保険料 当行負担!**

日本のひなた宮崎県 **宮崎銀行** 明日の夢人から人へ

みやぎん

教育ローン

※店頭およびホームページに商品説明書をご用意しております。詳しくは、当行窓口へお気軽にご相談ください。

お申し込みはこちら

0120-77-4668
携帯からもお申し込みができます!
受付時間 [平日] 9:00～22:00
[土・日・祝日] 9:00～17:00 (12/31～1/3を除く)

24時間受付 **FAX 0985-20-9955**
店頭窓口にお預けの予約審査申込書をご利用ください。

情報お申し込み! <http://www.miyagin.co.jp/>
みやぎん 検索

窓口で
ご本人さまを確認できる書類と、ご本人さまの収入を証明する書類をお持ちの上、お近くの窓口にご来店ください。

平成29年6月1日現在

*この欄は、広告です。掲載されている広告の内容などのお問い合わせは、直接広告主へお願いします。

宮崎大学メールマガジン

毎月1回、イベント情報や最新ニュースなどを紹介するメールマガジンを無料配信しております。登録方法はホームページをご覧ください。

宮崎大学 facebook

大学公式のページを公開しております。みなさんからのたくさんの「いいね!」お待ちしております。

宮崎大学 Youtube

宮崎大学インターネット放送局 Myaoh.TVをYouTubeに配信しています。チェックしてください。